認定特定非営利活動法人 日本雲南聯誼協会
【東京本部】〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町 21-13 1 階
Tel：03-5206-5260　Fax：03-5206-5261
Email：yunnan@jyfa.org　URL：http://www.jyfa.org/
【雲南支部】中国雲南省昆明市人民東路 289 号集大広場 2011 室
Tel.+86-871-63311468　Fax.+86-871-63320658
http://www.facebook.com/NPO.JYFA　@jyfa
ブログ 雲南の郵便屋さん 検索
編集・発行人　初鹿野 惠蘭
印刷協力　昭和情報プロセス㈱　㈱技術評論社／デザイン Hope Company

Japan Yunnan Friendship Association
彩雲の南
第82号
会報
発行日　2023 年（令和 5 年）1 月 15 日

2023 新年のご挨拶

謹賀新年

理事長　初鹿野　惠蘭

皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

日中国交正常化50周年の節目に当たった昨年も、コロナ禍の影響で人と人とのつながりを保つことが難しい情況ではありましたが、東京本部、雲南支部、大宮支部、名古屋支部のスタッフ一同、前向きな気持ちを忘れず活動してまいりました。

私自身、雲南省に帰省できないのは残念ですが、幸い「25の小さな夢基金」で支援する昆明市女子中学の生徒たちは安全な環境で生活できています。オンラインでの交流事業にも力を入れ、逆境の中にも教育支援における新たな希望を見いだすことができました。これもひとえに株式会社ナンセイスチール様をはじめとする皆様の温かいご支援のおかげであり、改めて感謝申し上げます。

コロナ禍という壁に直面したことで、協会の情況適応能力と社会ニーズの把握能力は向上し、人や組織の輪はいっそう拡大しました。結果として、協会活動への社会的理解も深まったように感じます。また、社会とのつながりを実感できたことが嬉しく、協会活動が必要とされていることを誇らしく思います。

協会は今年、設立23年目を迎えます。人間で言えばもう成人式を過ぎ、これからは積み重ねてきた経験や実績を生かして、活動の幅を広げる時期に入りました。去年7月に発足した日中青年部の「日中青少年交流」も楽しみなプロジェクトです。

コロナ禍にあっても、協会は一歩ずつ成長してきました。今後、時代の変化の中で、私たちにどのような社会貢献ができるのか、協会活動は何を目指していくべきか、これからも模索を続けていく所存です。そして日中友好や交流の将来を担う青少年たちが、共に学びあえる環境をはぐくんでまいります。

本年も皆様のご支援ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

25の小さな夢基金

3,700kmの距離を超えて 春蕾生から感謝と愛のこもった手紙が届きました

雲南の女子高生支援プロジェクト「25の小さな夢基金」では、手紙を通した交流を行っており、春節と学年末の年2回、春蕾生から支援者の皆様へ手紙が届きます。

昨年も中国の学年末の6月、彼女たちが手紙を書いてくれました。支援に対する感謝だけでなく、勉強や大学入試への不安、寮生活のちょっとしたできごとや家族・故郷への思いなどを手紙にしたためてくれました。

今回は「第16回チャリティーゴルフコンペ」の寄付で支援している和潤梅さんと玉罕亮さんのお手紙を紹介します。

感謝の気持ちがあふれる手紙が 193 通届きました

第14期生をご支援いただいた里親サポーターの皆さまへ

2019年9月に入学した第14期生156名は昨年6月、昆明市女子中学を無事卒業し、それぞれの道に進みました。3年間のご支援に感謝申し上げます。

本来なら、卒業前の最後の手紙で支援に対する感謝をお伝えさせていただきたかったのですが、コロナ禍による大学入試や学校生活の予定変更で、手紙を書いてもらえませんでした。今後、機会があれば書いてもらおうと考えています。

和潤梅さんからのお手紙

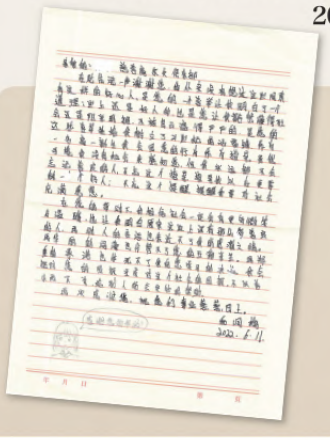
親愛なるチャリティーゴルフコンペ参加者の皆様

まず初めに感謝申し上げます。この世に皆様のような善良な人が本当にいるなんて思ったこともありませんでした。皆様のおかげで私は知りました。この世には良い人が多く、社会は暗い雲に覆われているのではなく、明るい日の光が差しているのです。皆様はまさに21世紀における道徳の模範「雷鋒」のようです。高校1年生として皆様の行いをお手本にします。皆様のことを知る機会はなくとも、私は常に善良な皆様のことを忘れません。この教えを忘れず、「良い人」になるよう努めます。この気づきを忘れず、社会に感謝します。

皆様の善意で、社会にはきっと笑顔と温かさが増えることでしょう。こんなにもたくさんの慈愛の心を持った人がいると気づかせてくださいました。皆さんに対する感謝の気持ちはどんな言葉でも言い表せません。どんなに美しい言葉をならべても、皆様の輝きには代えられません。皆様のことを見習うと約束します。これからは皆様へ、そして社会へ恩返しできるように、小さなことでも人を助けていきたいです。

あらためて感謝申し上げます。皆様のお仕事の発展をご祈念申し上げます。

2022年6月11日
和潤梅



玉罕亮さんからのお手紙

尊敬するチャリティーゴルフコンペ参加者の皆様

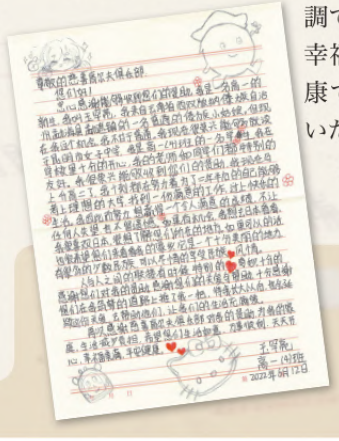
こんにちは！

ご支援に心より感謝申し上げます。高校 1 年の玉罕亮と申します。雲南省シーサンパンナタイ族自治州出身で、普通のタイ族の女の子でしたが、今はそうではありません。光栄なことに昆明市女子中学校に入学し、勉強できています。今は高等部 1 年 4 組に在籍し、学校生活はとても楽しく、先生方やクラスメートはとても親切です。私は皆様にご支援いただけて、とても光栄です。もうすぐ 2 年生になりますが、2 年後に希望する大学に合格し、満足できる仕事を見つけて、楽しく暮らせるように頑張っています。そのために努力して満足できる成績を取り、誰もがっかりさせないようにします。日本が好きなので、チャンスがあれば日本に行って、皆様の住む地方を知りたいです。できれば私の故郷にも来てほしいです。とても美しい所で、少数民族がたくさんいて、少数民族の風情を楽しめます。

人との出会いは時に不思議なものです。私への支援と、皆様の愛情に感謝します。私が夢を追いかける道で、背中を押してくださることを本当にありがたく感じます。大人になったら必ずこの愛情を受け継ぎ、人助けをして暮らしに愛が溢れるようにしたいと思います。

あらためてチャリティーゴルフに参加された皆様のご支援に感謝申し上げます。皆様のご支援のおかげで我が家の負担は減りました。皆様が思い通りに過ごされ、全てが順調で、毎日が楽しく、幸福に満ち溢れ、健康であるようお祈りいたします。

2022年6月12日
玉罕亮



翻訳：熊寛さん
（東京本部インターン生、東洋大学社会学部 2 年）

少数民族の女子教育支援

「25の小さな夢基金」随時 里親サポーターを募集しております

少数民族女子高生支援プロジェクト「25の小さな夢基金」では随時、里親サポーターを募集しております。支援金のサポートだけでなく、手紙を通じた交流で寮生活を送る彼女たちの心のサポートもできます。

▼「25の小さな夢基金」里親サポーター詳細とお申込み

協会公式 HP jyfa.org ➡ 協会プロジェクト ➡ 「25 の小さな夢基金」プロジェクト

※「25の小さな夢基金」への支援は税額控除の対象です。
皆様のご支援をお待ちしております。

日中国交正常化50周年
協力して心を合わせ、共に未来を創造する

日中国交正常化 50 周年を迎え、昨年は日中両国各地で様々な記念事業が行われました。コロナ感染予防のためオンラインで開かれたものもありましたが、やはり実際にお会いすることの大切さを感じました。

日本雲南聯誼協会は、これからも人と人とのつながりを大切にし、子どもたちへの教育支援の道を皆様とともに歩んでいきます。

日中交流フェスティバル2022

「日中交流フェスティバル 2022」が 9 月 24 日と 25 日、渋谷区の代々木公園イベント広場で開かれました。福田康夫元内閣総理大臣や宮本雄二元中国大使らが開幕式でスピーチし、中国文化を紹介する団体や店舗など 27 ブースが出展しました。

両国の「関心と共感」を呼び青少年に交流の場を提供するため、日中で活躍するプロアーティストのライブや、太極拳の体験イベントなどが行われました。

初出展した協会も、昨年発足した日中青年部を中心に教育支援や青年部の活動を宣伝。少数民族衣装の試着やハンドクラフトの展示で、多くの人に雲南の民族文化に興味を持ってもらいました。25 日夜には、中国で有名な「但願人長久」の歌を合唱し、5 万人（主催者発表）が訪れたフェスティバルは幕を閉じました。

▲協会ブース

■ボランティア協力（敬称略、順不同）
劉凱奇、汪清澈、杜娜、蒙妮、宋穎、張玄齢、曹明秋、水田知希、的場舞、劉佳雯、佐古涼輔、嶋崎蒼太、川口邦夫、萩谷佳恩、方雅娟

ゴルフを通じて教育支援

雲南少数民族女子高生の夢を叶える
日本雲南聯誼協会設立 22 周年記念
第17回 雲南省少数民族児童教育支援 チャリティーゴルフコンペ

協会主催のチャリティーゴルフコンペが 11 月 9 日、津久井湖ゴルフ倶楽部（神奈川県相模原市）で開かれ、会員や法人会員など 77 名が参加しました。今回は株式会社ナンセイスチール様から 300 万円のご寄付をいただいたほか、たくさんのご支援を賜りました。

ゴルフを楽しみながら雲南の子どもたちへの支援と日中友好を進めましょう。

寄付金総額 ¥4,173,040

▲左から 遠藤功副理事長、稲福誠顧問（㈱ナンセイスチール代表取締役会長）、劉国利顧問（㈱ナンセイスチール取締役社長）、初鹿野惠蘭理事長

ご参加いただきました皆様
ご協賛いただきました皆様
ご協力いただきました皆様
ボランティアの皆さま
この場をお借りして
御礼申し上げます
ありがとうございました

▲協会コンペ恒例のスタートホールでの記念撮影

▲朝一番から最後まで、ボランティアの皆様ありがとうございました!

▲協賛ボードに雲南の子どもたちへのメッセージを書いてもらいました

紅葉映える絶好のゴルフ日和となったチャリティーゴルフコンペは、平日にもかかわらず、早朝より大勢の方々が集まり、楽しい親睦と好スコアを期待して、にぎやかな記念写真撮影から始まりました。今年は昨年にも増して、参加者が増え、3コースに分かれ同時スタートとなりました。プレー終了後は、食事会と成績発表が行われ、会場の方々から歓声が聞こえました。今回、総合の部（優勝、準優勝、3位）とレディースの部（優勝、準優勝、三位）に加え、第 17 回目のコンペを記念した 17 位、協会創立 22 周年を記念した 22 位、日中国交正常化 50 周年を記念した 50 位を特別賞としました。受賞された皆様おめでとうございます !!

今大会は、例年にも増してチャリティーゴルフコンペの趣旨にご賛同していただいた、企業１５社より多くのご協賛とご寄付が寄せられました。また当日は、日中の学生など約 20 人のボランティアが、大会の準備から運営まで関わってくれました。雲南少数民族の衣装を身にまとい、会場を明るく盛り上げました。

▲沢山の企業よりご協賛の賞品が寄せられました!

【ご協力/ご寄付/ご協賛】（順不同、敬称略）株式会社技術評論社、源清田商事株式会社、株式会社ナンセイスチール、株式会社ハブ、株式会社優食 HUNTKEY JAPAN株式会社、全日本鉄道労働組合総連合会（JR総連）、新美商事株式会社、綿半ホールディングス株式会社、一般社団法人浙江総商会、日中商報、株式会社リンガーハット、鷹正宗株式会社、一般社団法人日本哈爾濱総商会、株式会社スマイル、青島啤酒股份有限公司、中国雲南酒膳坊「過橋米線」、京王プラザホテル、津久井湖ゴルフ倶楽部、共立総合整骨院、横浜機材株式会社、安東建設株式会社、東磐商事株式会社、一般社団法人日本雲南総商会、株式会社ピエナ・カーサ、村田昭二、柳瀬允孝、武田正志、大木康隆　参加者の皆様

【ボランティア協力】龐茜、林媛、劉麗君、藤江林玲、浅野月娥、鮑嘉蓉、呉躍俊、于舒馨、何婷、山本隆紀、楊文敏、荆桂玉、王哲、大和慶吉、森園文恵、熊寛(東京本部インターン生)、滝澤崇

雲南省ー日本経済懇談会開催

2023年は飛躍の年へ、雲南省と日本の結びつきを更に強化

▶参加者が多数のため2回に分けて記念撮影

昨年12月14日、中日国交正常化50周年と日本（東京）雲南省商務代表処設立2周年を記念し「雲南省-日本経済懇談会」が2年ぶりに開催され、主に中国に関連する日本企業・団体等から計65名が参加しました。

主催挨拶

初鹿野 惠蘭　理事長

開会の挨拶は、初鹿野惠蘭理事長より「日本雲南聯誼協会は、これまでに日本・雲南双方向での経済交流と協力に尽くしてきた。今日の懇談会を通じて雲南を身近に感じてほしい。また、今年（2022年）の10月25日には東方航空が昆明・成田の直行便の運航を始め、雲南と日本の往来がさらに便利になった。ぜひ企業家の皆さん自身が雲南を訪れ、雲南省の企業との経済交流、協力を進めてほしい」と挨拶を致しました。

主催挨拶

雲南省商務庁 寸敏 副庁長

雲南省からオンラインで参加した雲南省商務庁副庁長の寸敏氏は、雲南省は中国と東南アジアへの主要なゲートウェイであり、皆様の観光、ビジネス（投資や貿易協力）における訪問を温かく歓迎すると、とても流ちょうな日本語で挨拶をされました。

主賓挨拶

中華人民共和国駐日本国大使館
経済商務　宋 耀明 公使

主賓の中華人民共和国駐日本国大使館経済商務公使の宋耀明氏は、「大使館を代表し、長年にわたって中日の経済協力および雲南と日本の交流をサポートしていただいた日本雲南聯誼協会をはじめとする、皆さんに感謝したい。今年は中日国交正常化50周年の節目に当たり、両国の友好発展にとって重要な一里塚だ。中国大使館はこれからも雲南省に関連する様々な事業への積極的な支援を行う」とご発言されました。

来賓挨拶

斎藤 憲二　地域調整官

次の来賓挨拶、外務省中国・モンゴル第一課地域調整官・斎藤憲二氏からは、雲南省のビジネスチャンスについて、「チャイナチャンスを取れないことがチャイナリスク」だと、日本企業への期待を寄せられていました。

小栗 道明 JETRO総務課長

日本貿易振興機構（JETRO）の小栗道明総務課長は「最近の世論調査では、中国に親近感を抱く日本の若者は増えている」と、中日関係の友好発展を非常に期待していると挨拶されました。

協会の歴史と活動を紹介

林 則幸 理事

来賓の挨拶の後、日本雲南聯誼協会林理事により、あらためて日本雲南聯誼協会の教育支援への理解と協力を求めました。

特別講演

キヤノングローバル戦略
研究所 瀬口 清之 研究主幹

懇談会最後は、キヤノングローバル戦略研究所研究主幹の瀬口清之氏による「中国経済の発展と雲南の繁栄」と題した特別講演では、現在、雲南省は全省GDP順位において17位まで上昇しており、2030年ごろまで雲南省の経済は高度成長を続ける。最後に「中国の発展は日本の発展、日本の発展は中国の発展」だと述べられ、「さらなる経済交流の発展へと実を結ぶことができるよう、日中双方から手を取り合い歩んでいくことを願っています」と発表を締めくくりました。

懇親会

日本雲南総商会
関 晃典 理事長

在日中国企業協会
王家馴会長

懇親会では、日本雲南総商会の関晃典理事長及び在日中国企業協会の王家馴会長があいさつし、王会長の乾杯で懇親会が始まりました。参加した日本企業代表の方々は、次々と名刺交換をするなど、相互交流が活発に行われ、日中国交回復50周年を締めくくるイベントとして、「雲南省-日本経済懇談会」は、盛況の裡に終了しました。

日　時：2022年12月14日（水）
（日本時間）
会　場：京王プラザホテル
主催：雲南省駐日本（東京）商務代表処
共催：一般社団法人 日本雲南総商会
認定NPO法人日本雲南聯誼協会
後援：中華人民共和国駐日本国大使館
経済商務処
【ボランティア協力】（順不同、敬称略）：林媛、季瑞穎（日中青年部部長）、井上正順（日中青年部部長）、水田知希、荘司遥香、管晶、熊寛（東京本部インターン生）、滝澤崇

中華人民共和国成立73周年 国交正常化50周年祝賀レセプション

詹孔朝総領事▲

駐日本国中華人民共和国大使館は9月22日、東京で中華人民共和国成立73周年と中日国交正常化50周年を祝うレセプションを開催し、初鹿野理事長が出席しました。会には、2018年総領事として着任し、協会の夢基金会員でもある詹孔朝総領事も同席するなど、日本の政財界や友好団体、華僑団体と、各国の駐日外交使節ら300人以上が出席し、50年の歴史を振り返り祝しました。冒頭、中国の孔鉉佑駐日大使は、50年にわたる両国関係の発展を振り返りつつ、"次の50年"へ友好をさらに深め、人的・文化的交流の拡大などを進める必要性を訴えました。

日中国交正常化50周年記念式典

隣国として、さらにいい関係に

初鹿野理事長と神立理事が参加

東京オペラシティ（東京都新宿区）で9月29日、日中国交正常化50周年を記念する式典が開かれ、福田康夫元首相や孔鉉佑駐日大使をはじめ、日中政財界および学識者、友好団体など1,400名が参加しました。

特別ゲストとしてフィギュアスケートの羽生結弦さんが登壇し、中国の人々へ感謝するとともに「日本と中国は隣国だからこそ、もっと良い関係でありたい。お互いがより理解し合って交流が深まるよう、そのきっかけになりたい。」と次世代を担う若者にメッセージを送りました。

国交正常化から50年。スポーツや音楽、旅行やアニメなど、特に若者世代共通の関心を通じ、幅広いジャンルで日中交流が進み、心豊かな友好関係が築けるよう期待します。　　神立めぐみ（理事、会員）

▲（左）神立理事（右）初鹿野理事長

▲日中の若い世代へメッセージを送る羽生結弦さん（右）と張貝貝さん（左）

秋の国際協力イベント

東京・さいたま・福井からご報告

新型コロナ予防のための行動制限が緩和され、各地で様々なイベントが開かれるようになりました。協会も「グローバルフェスタ JAPAN2022」をはじめ、「福井グローバル2022」や「さいたま市国際ふれあいフェア 2022」などに出展しました。

3 年ぶりの「グローバルフェスタ JAPAN2022」では、大宮支部ボランティアの川口邦夫さんを中心に協会を PR。一方、福井の会員の呉淑敏さんは 10 月 2 日「福井グローバル 2022」に出展。大宮支部も「さいたま市国際ふれあいフェア 2022」に出展するなど、久々のイベントラッシュになりました。

会員・ボランティアの皆さんのご協力で各地のイベントに参加し、協会活動や雲南省、少数民族に興味を持つ人が増えています。川口邦夫さんから「グローバルフェスタ JAPAN2022」と「さいたま市国際ふれあいフェア」、呉淑敏さんから福井のイベントの報告が届きました。

国内最大級の国際協力の祭典
グローバルフェスタJapan2022出展

10 月 1 日、2 日の両日、東京・有楽町の東京国際フォーラムで開かれた「グローバルフェスタ JAPAN2022」に参加しました。例年同様、政府機関、在日各国大使館、国際機関そして海外で活動する NGO･NPO、約 100 団体が参加しました。屋内会場のためブースは狭く、スタッフも１名に制限されました。協会ブースも狭くなったため、従来のパネル展示をＰＣの液晶パネルによる動画展示に変更しました。来場者への雲南省と協会の活動説明は、スタッフが説明資料を手で持って行いました。今回は若い女性の来場者が目立ちました。中に社会科の授業の一環としてメモを取りながら説明を真剣に聞いてくれた学生グループがありました。協会の活動を学校で改めて説明してもらえないかと聞かれ、今までにない手応えを感じた体験でした。

川口邦夫（会員、ボランティア）

▲若者たちに協会活動を説明する川口邦夫さん

■ボランティア協力（敬称略、順不同）
川口邦夫、曹明秋

▲ボランティアの曹明秋さん

福井国際フェスティバル 2022

「誰もが主役の福井」のハイライト

幸せ度日本一である福井県は県の多文化共生推進プランにより、『多様性と包摂性のある持続可能の社会』を実現するため 10 月 1 日から 30 日まで「国際フェスティバル」を開催しました。同 2 日には福井駅前広場に 8 か国の屋台が出店し、23 日には福井国際交流会館内に 11 か国が出店しました。

今年中国の文化紹介は雲南をテーマとし、雲南省の多彩な民族文化、滇キンシコウに代表される生物多様性、花の宴などを紹介しました。また、協会の少数民族女子高生支援プロジェクトも紹介しました。協会の会員の呉淑敏さんは「1 日たったコーヒー1 杯分のお金を 1 年間貯めると、雲南省の山間部に住んでいる少女の人生を変えることができる」と説明し、より多くの人が雲南の山間部の少女たちへ支援してくれることを願い案内しました。

劉庭辰さんは中国古典な楽器琴の名曲「高山流水」を公演しました。泉が湧き出るような調べが彼女の指先から流れると、瞬間的に現場の人を泉が流れている緑の山にいざないました。

福井在住の外国人コミュニティーリーダーの方々
◀前列左から2番目中村美寧さん

忘れられないのは皆さんの力で同じゴールを目指して協力し、イベントを成功に導いたチームワークです。各国の外国人コミュニティのリーダーたちもこのイベントを通じて日本のスタッフの協力を強く体験し、自分の国の仲間たちとも協力しました。日本に住んでいる中国人たちも、祖国を心に思い、一致団結し、中国文化の発揚と日中交流を促進しています。

中村美寧（ボランティア）

■ボランティア協力（敬称略、順不同）
10月2日：劉穎、白華、唐佳惠、中村美寧、呉淑敏
10月23日：朴成武、金海英、苟永玠、劉庭辰、劉雍沢元、唐佳惠、唐）、渡辺寧佳、白艶梅、入場美緒、白華、劉冬蓮、堀江吉美、呉淑敏

大宮支部出展

海外姉妹・友好都市とともに 平和な世界を!!

さいたま市国際ふれあいフェア

▲美しい雲南少数民族民族衣装を着たボランティアの皆さん

民族衣装の試着は
◀今回も大好評でした

「さいたま市国際ふれあいフェア」が10月 9 日、JR 浦和駅前広場で久しぶりに開催されました。コロナの影響もあり、飲食の提供ブースはありませんでしたが、3連休中の開催で大勢の家族連れが来場しました。さいたま市長も来場し、協会活動について説明させていただきました。大宮支部も１０名を超すスタッフが集まり、久しぶりの再会に話が弾みました。ブースでは雲南省や協会活動の説明を行い、民族衣装の試着、また寄付いただいた方に記念の雲南民芸品を差し上げました。雲南と日本の繋がりに興味を持ち、長い時間説明を聞いていただいた方も何人かいました。コロナ感染の減少に伴い、中断されていたイベントが埼玉でも徐々に解禁されてきました。以前のように支部の皆さんと顔を合わせ活動できることの楽しさを実感した1日でした。

川口邦夫（会員、ボランティア）

■ボランティア協力（敬称略、順不同）
川口邦夫、大泉國雄、青柳茂樹、村上愛平、龐茜
横山晋、横山蓓、佐藤正典、森瞳、岡田有美、角田果鎂、寺内明子大宮支部長

イベント情報

Japan Festival雲南
日時：2023年2月11日(日)、12日(土)
場所：昆明海楽世界ショピングモール
（中国雲南省昆明市）

令和4年度第4回 理事会及び役員顧問会
日時：2023年2月17日(金)
場所：協会東京本部

協会イベントに関するお問合わせ
東京本部事務局
TEL.03-5206-5260（平日10～18時）
✉ yunnan@jyfa.org

お詫びと訂正

2022年9月15日の「彩雲の南・第81号」4面に掲載した「イベント報告　初鹿野理事長が多摩大学で講演」の記事で、講演した学部名を「情報経営学部」とお伝えしましたが、正しくは「経営情報学部」の誤りでした。関係者の皆様にお詫び申し上げ、訂正いたします。誠に申し訳ございませんでした。

『彩雲の南』へのご意見 ご提案をお待ちしています

いつも『彩雲の南』をご覧いただき、ありがとうございます。
皆さんにもっと楽しんでいただけるよう、『彩雲の南』へのご意見・ご提案を募集します。写真もお待ちしております。お気軽にお寄せください。

〒162-0846 東京都新宿区市谷左内町21-13 1階
認定NPO法人日本雲南聯誼協会
東京本部事務局
✉ yunnan@jyfa.org
までお送り下さい

イベント告知　JapanFestival雲南開催のお知らせ

日中国交正常化 50 周年の今年、文化や観光、物産等の交流を目的とした各種の「ジャパン・フェスティバル」が重慶、瀋陽、海南、武漢などで開かれました。こうした流れを受け、協会も昆明市で「ジャパン・フェスティバル雲南」を開催することになりました。

フェスティバルは、若者に人気の昆明海楽世界ショピングモールを会場に、先端技術を体験できる夢教室や、日本と現地をオンラインでつないだ若者の文化交流などを行います。岩手、群馬、神奈川など 11 の地方自治体と、キリンビールなどが出展する予定です。

当初 11 月の予定でしたが、新型コロナウィルスの感染者急増で来年 2 月 11 日、12 日に延期されました。

同フェスティバルは、一般財団法人「日本アジア共同体文化協力機構」や在重慶日本総領事館、ジェトロ成都事務所、雲南省外事弁公室などとの共催です。みなさん、ぜひ「ジャパン・フェスティバル雲南」へお越しください。

編集後記

明けましておめでとうございます。日本はようやくコロナの足かせから解放されそうですが、中国では再び猛威を振るう勢いです。コロナのために国際社会はぎすぎすしてしまいました。苦境に陥いると、人も政治も自分を守ろうとして、他人への思いやりを忘れてしまうからです。でも、転んで泣いている子どもがいれば、誰であろうと助け起こす、それが協会の基本姿勢だと思います。一つでも多くの笑顔が見られるよう、今年もがんばりましょう。

（編集長・木本一彰）